

センター月だより

10月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

・地区別指導活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	5	2	13	20
声かけ件数	1660	27	86	1773
指導参加者数	73	26	45	144

(指導日誌より)

○多治見地区

- ・養正公民館で小学6年生から自転車を盗まれたと相談を受けた。付近を捜したが見つからず、警察に届けたところ、後日駅裏で発見され、お礼の連絡をもらった。
- ・以前、小学生が万引き事件を起こしたコンビニで、詳しくその後の状況を聞くことができた。小学生の単独入店の場合はカードゲームに人気があり、店側も特に注意して見ているとのこと。又、万引きの件数は大人、子供に関わらず減っていないとのこと。
- ・中学校数校の生徒が喫煙グループをつくっていると、公民館や児童館より情報があり、関係する学校の先生方は連絡を取り合って実態把握に努めているとのこと。

○瑞浪地区

- ・明世地区のバイパス高架下の壁面にペンキの落書きが増えてきました。タバコの吸い殻、ゴミの散乱も多く、付近の環境がだんだん悪くなってきている。今後は特に注意深く見回る必要があります。
- ・駅前広場で高校生のグループに声かけをしたところ、その内の1人がゴミ拾いを手伝ってくれ、逆に激励されてしまいました。
- ・暗くなった明徳橋下にいた高校生のカップルに、危ないから早く帰るように声かけをしました。
- ・駅裏トイレ、小公園の東屋の電灯が切れており、市役所へ連絡を入れました。

○土岐地区

- ・駅前が無職の4人の女の子が通行の邪魔になる場所で、喫煙、飲食をしていたので注意した。
- ・夜7時頃に三起屋のゲームコーナーで女子中学生3人が、遊んでいたため、早く帰るよう指導した。バス時間の待ち合わせのため、時間調整をしていると言いつきされてしまった。
- ・公園付近の道路でスケートボードをやっている小学生に、道路は危険だから遊ばないように注意した。

センターより

- ・ご自分の車を使って巡回活動されている班もありますが、少年センターが加入している保険について再度確認させていただきます。

少年指導員さんは、傷害と賠償責任保険に全員加入しています。

補償内容

- ◆賠償責任保険 ・対人賠償・対物賠償 1000万円（免責金額1,000円）
- ◆傷害保険 ・死亡・後遺障害 2000万円
- ・入院保険 1日 5,000円
- ・通院保険 1日 3,000円

(★注意)

○徒歩での街頭指導中における事故等による傷害と賠償責任に対して保険金が支払われます。

○自宅から街頭指導の集合場所まで、通常ルートで徒歩または自転車で起きた事故等は、指導員さん自身の傷害と賠償責任について補償されます。

自家用車での往復の場合は、指導員さん自身の傷害については補償されますが、対人・対物の自動車事故については補償されません。ご自身の車の保険で対応していただくことになります。

したがって、自家用車を使つての街頭指導は保険対象外となりますから使用を避けていただきたいと思います。やむを得ず使用する場合はご自身が加入している保険を使うことになります。

・10月より多治見地区指導部の一部の班に協力を頂き、小中学校の児童・生徒を対象に下校時の校門前での学校啓発を試みています。12月以降もご協力をお願いします。

・現在、各班の問題を見極めたいと指導活動の実態を知るため、センター職員も同行させていただいています。協力していただいた班には改めてお礼申し上げます。

同行していて、気づいたのですが、改善してほしいことが2点あります。

1. 班によっては構成メンバーの年齢に幅があり、班員の体力差を感じる班があります。

巡回の歩くスピードですが、班長さんには全体の動きを見て頂き、ご高齢の方にもご配慮いただき、歩く速度の調整をお願いいたします。

2. 巡回にかかる時間ですが、意欲的に1時間半から2時間近くかけている班もあり、その熱意には頭が下がる思いです。しかし、お仕事疲れでご参加の方や、ご高齢の方もいらっしゃいます。

また費用弁償も1時間を基本に考えられていますので、街頭指導に要する時間は1時間を目安としてください。

以上、2点をよろしく願いいたします。

・街頭指導について指導員よりご意見を頂きました。

10月、ある地区のお2人の指導員から街頭指導のあり方について、問い合わせやご意見を頂きました。いずれも、センターが常々問題にしてきたことです。

様々な機会をお願いしているところですが、改めて今のあり様について、真摯に見直しをしていただきたいと願っています。

(その1) 私たちが街頭指導で取り組むべきは、ゴミ拾いやタバコの吸い殻拾いではないはずです。

本来の目的が達成できる街頭指導を目指してほしい。

(その2) 街頭指導では一人でも多くの児童・生徒と直に接して挨拶ができる、言葉がかわせる。

そうした関係づくりが一番大切なことだと思って指導員になりました。

しかし、現実には誰もいない夜道でのモク拾い。これ何とかありませんか。

求めるもので、出会いも決まる

人生には様々な出会いがあります。その中で、万人共通の出会いは、親子の出会いです。

これは親が求めた出会いです。子どもにとっては、人生最初の出会いです。

この出会いを本当に大切にしてほしいと思います。

そして人間は欲求の方向に動きます。欲求、すなわちその人が求めるものにより、出会いが違ってきます。求めていく方向により、決まってきます。

今あなたは何を求めていますか？それによって出会いも決まるのです。

どうか、すばらしい出会いを！